

- ☆第92回埼玉県中央メーデー
- ☆働くひとにありがとうメッセージ
- ☆フードパントリー
- ☆第92回埼玉県中央メーデーフォトギャラリー
- ☆2021春季生活闘争 第5回回答集計
- ☆組織拡大推進者連絡会/「私の提言」募集
- ☆6月の行動日程/埼玉県生活協同組合お知らせ
- ☆あけぼのビル

今こそ心をひとつに!働く仲間の笑顔のために 感謝と思いやりの絆をつなぎ 希望あふれる未来を切り拓こう

第92回埼玉県中央メーデー

4月29日(木)、第92回埼玉県中央メーデーを連合埼玉始まって以来、初めてオンライン配信(YouTube Live)にて開催しました。配信場所のときわ会館には来賓・執行部・スタッフ約40名が集い、そしてオンライン配信には約700の回線(参加者)が結ばれました。

私たちを取り巻く環境は、様々な格差・働き方改革などの課題を抱える中、新型コロナウイルスの影響が加わり、「非接触」・「分散」・「ネットワーク」によるデジタル化が加速しました。こうした状況を踏まえ「働く仲間へ感謝のメッセージで心をつなぐ」メーデーとして開催しました。

近藤会長の主催者挨拶では、「感染症の早期収束と、すべての働く者の安心確保のため、政策実現活動や職場労使における対策の徹底、労働相談活動など、全力で取り組む。また、今年で東日本大震災から10年、熊本地震からは5年が経過したが、労働組合の原点である、`支え合い・助け合い、を実践する中で生まれた、人と人との`絆、の尊さを再認識することで、これからも被災地に寄り添っていききたい。そして、労働運動の立場から、どのような状況においても誰ひとり取り残されることのない社会の実現に向けて取り組みを進めていきたい」と訴えました。

続く来賓あいさつでは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、埼玉県に緊急事態宣言に準じた「まん延防止等重点措置」が適用されたことから、大野元裕埼玉県知事と清水勇人さいたま市長についてはビデオメッセージにて、福祉事業団体を代表し小林直哉埼玉労協理事長、第49回衆議院議員選挙の連合埼玉

推薦候補者(10名)を代表し大島敦衆議院議員は会場にて挨拶をいただきました。

その後、多くの働く仲間の皆さんに向けた応援リレーメッセージとして、「新型コロナウイルス感染症の中でも懸命に働く仲間へのエールメッセージ」としてUAゼンセン ベルク労働組合の中村圭佑(なかむら けいすけ)さん、「新型コロナウイルス感染症の影響による雇用支援への要請メッセージ」として連合埼玉副会長で政策制度委員長でもある沼尻俊彦氏、そして「10年の節目を迎えた東日本大震災の風化させない支援のメッセージ」として、3.11の震災当初から福島県浪江町より埼玉県に避難し、上尾市のシラコバト団地で生活し、現在は県内避難者の交流にも尽力している、橘光顕(たちばな みつあき)さんよりメッセージを伝えました。また、これに続けて「働く人へのありがとうメッセージ(2ページ参照)の動画を披露しました。

また、医療現場で、命がけでコロナウイルスと日々格闘している医療従事者への支援として、埼玉労協の構成団体である「医療生協さいたま」の雪田慎二理事長に、日本製のN95マスクを7500枚分の目録を近藤会長から渡しました。

その後、メーデースローガン、ならびにメーデー宣言の採択、最後に近藤会長の発声での「働く仲間へのエール」がおこなわれ、式典はしめくられました。

メーデー式典と並行して、大宮駅の鐘塚公園で、埼玉大学の学生さんの皆さんへフードパントリーいわゆる食糧支援を実施しました。(3ページ参照)

第92回埼玉県中央メーデー

「はたらく人にありがとう」メッセージ

連合埼玉は働く人への感謝の気持ちを込めた「はたらく人にありがとう」メッセージを募集し、合計で35作品が集まりました。

作品は連合埼玉執行部の投票により、部門ごとに最優秀作品1点、優秀作品2点(小学生の部は同点により3点)が選出されました。

【小学生の部 最優秀作品】

尾崎 心音さん(電機連合)

私は、地域の人に、感謝の気持ちを伝えたいです。

どうしてかと言うと、地域の人があいさつをしていると、とても気持ちがよくなるし、心が暖かくなると思ったから、地域の人に感謝を伝えたいと思いました。

毎朝、家の外に出て、登校中の私たちに「おはようございます。いってらっしゃい」と声をかけてくれる人がいます。私はその人に会うのがうれしいし、あいさつしてもらえると心が温かくなります。はずかしくて、まだ大きな声であいさつすることができませんが、「いつもありがとうございます」の気持ちでいっぱいです。

これからも、あいさつをいっぱいやりたいし、いつかマスクを外して、大きな声であいさつをして、ありがとうの気持ちを伝えられるようになりたいです。



各部門の最優秀作品は、第92回埼玉県中央メーデーにおいて、本人によるビデオメッセージとして披露されました。

【中学生の部 最優秀作品】

足立 奈優さん(電機連合)

私のお母さんとお父さんは、家族が幸せに暮らせるように、毎日頑張って仕事をしています。お母さんは仕事から帰ってきた後も、家の仕事をしています。疲れているのに、何が食べたいか聞いてくれて、何品もおいしいご飯を作ってくれます。

また、掃除や洗濯、食器洗いなども頑張っています。たまに、家庭事情が深刻な家族をニュースなどでみると、私は恵まれているんだなと思うことがあります。そのように感じられるのも、すべてお母さんとお父さんの頑張りのおかげなのだと改めて考えさせられました。

私が習い事に行けるのも、好きなことができるのも、友達と遊びに行けるのも子供だけの特権なのだと。大人になって社会に出ると厳しい環境が待っていると思います。なので、今の生活ができることに感謝して、お手伝いをしっかりやろうと思いました。

私の尊敬する人は一番近くにいました。その二人にできる唯一の贈り物「ありがとう」をたくさん伝えようと思いました。



【一般の部 最優秀作品】 兎澤 桃花さん(自動車総連)

今年で16年間の学生生活が終わります。今年まで男手一つで育ててくれてありがとう。

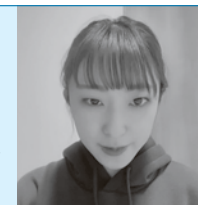
仕事が大変なのに料理、洗濯、掃除、全部やってくれてスーパーお父さんだったんだなって学生の時は分からなかったけど、今は分かるよ。バスケも高校まで続けさせてくれてありがとう。ミニバスの頃から送り迎えとか、試合の応援に来てくれたり、お弁当を作ってくれて本当にありがとう。バスケ人生は私の一生の思い出です。

それと一緒に関ジャニを追っかけたのもとうちゃんとの思い出です。CDとかDVDとか買ってくれたり、大

阪の京セラドームまで行って関ジャニと年越ししたり、こんなに私の好きなことを一緒に楽しんでくれるお父さんはいないと思う。本当にありがとう。

お母さんがいなくても全然寂しくなかったし、困らなかったのは、とうちゃんが一生懸命育ててくれたからだよね。これからは立派な社会人になれるように頑張ります。

とうちゃんも私のことは気にせず、これから自分の人生を楽しんでください。仕事しすぎて倒れないようにね。体には本当に気を付けてね。



第92回埼玉県中央メーデー

「“コロナに負けるな!”生活応援イベント～フードパントリー～」

連合埼玉では、4月29日(木)に開催した「第92回埼玉県中央メーデー」にあわせ、埼玉大学在学学生に対する「“コロナに負けるな!”生活応援イベント～フードパントリー～」をさいたま市大宮区の鐘塚公園で実施しました。

実施にあたっては、埼玉労福協・中央労働金庫埼玉県本部・こくみん共済coop埼玉推進本部・フードバンク埼玉・ネットワークSAITAMA21運動の組織より、多大なるご支援をいただきとともに、東京サラヤKK様より消毒液の提供をいただきました。

当日は小雨がちらつく中、事前に予約をいただいた267名の埼玉大学在学学生が手提げ袋に入った食品(約7kg)を受け取りに来ていただきました。受け取りに来た学生さんからは、「アルバイトができないため収入が少なく、生活費を切り詰めてやりくりをしている。今回の支援は本当にありがたいです」「こんなに食品が入っているとは思わなかった。助かります。パンはここ数ヶ月食べておらず、食べられるとは思わなかったです。本当にありがとうございます」などといった悲痛ともいえる声・御礼の声が聞かれました。

なお、埼玉大学在学学生を対象にした経過としては、大学生の生活困窮者も増えている中で、当大学に連合寄付講座として、毎年、講義をおこなっている関係から大学生の皆さんの支援を実施することとしました。さらに約300人分の食品を用意しておりましたので、後日、埼玉県内の他の大学に支援する予定となっています。

当日、ご支援・ご協力をいただきましたすべての皆様に感謝・御礼を申し上げます。

埼玉大学在学学生からの御礼メールが届きました!

こんにちは。

先日4月29日に、食料配布していただきました埼玉大学の〇〇という者です。

昨今のCOVID-19の影響により、アルバイト収入が減っている中、沢山の食料品などを頂きまして、大変助かりました。

ありがとうございます。



鐘塚公園のフードパントリー全体風景



在学生に食品を手渡する執行委員・アドバイザーの皆さん



在学生に食品を手渡する支援団体の皆さん



完成した食品を入れた手提げ袋



フードパントリーに伴う袋詰め作業

第92回埼玉県中央メーデー フォトギャラリー



主催者挨拶:近藤嘉会長



リレーメッセージ

「新型コロナウイルス感染症の中でも懸命に働く仲間へのエールメッセージ」
ベルク労働組合 中村圭佑さん

来賓挨拶



大野元裕 埼玉県知事



小林直哉 埼玉労福協理事長



清水勇人 さいたま市長



大島敦 立憲民主党埼玉県連代表



「新型コロナウイルス感染症の影響による雇用支援への要請メッセージ」 沼尻俊彦副会長
「東日本大震災を風化させない支援のメッセージ」 橋 光顕さん



医療物資の贈呈式
医療生協さいたま 雪田慎二理事長



メーデースローガン:
小峯冴子さん(女性委員会)

メーデー宣言:
梶原康智さん(青年委員会)



アクションレンジャー「黒滅の力」

連合:2021 春季生活闘争 第5回答集計結果(5月10日現在)

連合は5月10日(月)、2021 春季生活闘争 第5回答集計結果を公表しました。

【概要】

- 月例賃金改善を要求した 5,361 組合(昨年同時期比 688 組合増)のうち、3,111 組合(同 175 組合増)が妥結し、賃上げ要求・妥結ともに昨年同時期を上回った。妥結内容が確認できる 2,006 組合のうち 48.6%が賃金改善分を獲得し、98.6%が定昇相当分を確保した。
- 平均賃金方式で回答を引き出し、賃上げ分が明確に分かる 1,213 組合のうち、組合員数 300 人未満の中小組合(763 組合)の賃上げ分は 1,379 円・0.57%で昨年同時期と同等、かつ、率は全体(0.56%)を超えるとともに、今次闘争では最も高い結果となった。
- 加重平均で、賃上げ額は時給 21.88 円・月給 4,442 円、引上げ率は概算でそれぞれ 2.13%・2.03%となり、今次闘争では一貫して一般組合員(平均賃金方式)を上回っている。

1. 賃金引上げ <第5回答集計結果(5月10日公表)>

平均賃金方式(集計組合員数による加重平均)

平均賃金方式		2021回答 (2021年5月10日公表)			昨年対比	2020回答 (2020年5月11日公表)		
		集計組合数 集計組合員数	定昇相当込み賃上げ計			集計組合数 集計組合員数	定昇相当込み賃上げ計	
			額	率			額	率
		3,205 組合 2,191,464 人	5,347 円	1.81 %	▲ 336 円 ▲ 0.12 ポイント	3,123 組合 2,364,572 人	5,683 円	1.93 %
300人未満 計		2,222 組合 223,633 人	4,438 円	1.77 %	▲ 287 円 ▲ 0.14 ポイント	2,119 組合 222,410 人	4,725 円	1.91 %
～99人		1,277 組合 55,405 人	3,985 円	1.69 %	▲ 321 円 ▲ 0.18 ポイント	1,181 組合 52,675 人	4,306 円	1.87 %
100～299人		945 組合 168,228 人	4,588 円	1.79 %	▲ 268 円 ▲ 0.13 ポイント	938 組合 169,735 人	4,856 円	1.92 %
300人以上 計		983 組合 1,967,831 人	5,455 円	1.82 %	▲ 333 円 ▲ 0.11 ポイント	1,004 組合 2,142,162 人	5,788 円	1.93 %
300～999人		619 組合 334,657 人	5,041 円	1.86 %	▲ 328 円 ▲ 0.11 ポイント	624 組合 340,815 人	5,369 円	1.97 %
1,000人～		364 組合 1,633,174 人	5,543 円	1.81 %	▲ 328 円 ▲ 0.12 ポイント	380 組合 1,801,347 人	5,871 円	1.93 %

※2021年と2020年で集計対象組合が異なるため、「定昇相当込み賃上げ計」の昨年対比は整合しない

2. 非正規労働者賃金引上げ <第5回答集計結果(5月10日公表)>

	2021回答 (2021年5月10日公表)			昨年対比	2020回答 (2020年5月11日公表)		
	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	平均時給 (参考値)		集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	平均時給 (参考値)
時給	207 組合	19.32 円	1,038.46 円	▲ 7.78 円	265 組合	27.10 円	1,039.01 円
単純平均	549,009 人	21.88 円	1,047.86 円	▲ 6.61 円	650,449 人	28.49 円	1,029.07 円
加重平均							
月給	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	率 (参考値)	昨年対比	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	率 (参考値)
単純平均	64 組合	4,199 円	1.97 %	▲ 630 円	73 組合	4,829 円	2.30 %
加重平均	17,002 人	4,442 円	2.03 %	▲ 1,250 円	23,078 人	5,692 円	2.68 %

組織拡大推進者連絡会

「組織拡大プラン 2030」の概要について学ぶ



谷内副会長



連合本部組織拡大局 石川局長



砂田アドバイザー



組織拡大推進者連絡会会場

5月11日(火)第6回(拡大)執行委員会終了後、組織拡大推進者連絡会が開催されました。参加者は執行委員のみならず、構成組織から組織担当者15名と地域協議会の代表者10名も加わり、全体で58名が参加しました。

開会挨拶で谷内副会長から、労働組合が果たす組織拡大の意義について語られたあと、連合組織拡大局の石川局長から講義を受けました。

「連合組織拡大プラン2030」は本年度からスタートしたもので、そのポイントは ①2030年までの10年間に徹底的に組織拡大にこだわる ②構成組織・地方連合会自らの目標を設定し、その必達に向けて全力で取り組む ③人財を含めた体制の強化(オルガナイザーの確保・育成)を重点的に取り組むことが掲げられ

ています。

続いて砂田ユニオンアドバイザーから、2020年4月から本年3月までの「なんでも労働相談」結果について報告がありました。相談件数は653件(前年度421件)と154%増加しています。相談内容は、雇用関係119件(対前年220%)、賃金関係107件(対前年210%)、労働契約関係93件(対前年175%)が最も多くなりました。新型コロナウイルスの影響で、働く者の雇用・賃金・労働契約は厳しい環境にあり、労働組合への期待が高まっています。

オルガナイザー研修会では、職場の課題を解決するため集団的労使関係の構築をめざし、組織拡大に携わる人財育成に取り組めます。

第18回「私の提言」

「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の実現に向けて連合・労働組合が今取り組むべきこと

連合は結成30周年を迎え、中長期的な方針として連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」を策定しました。また、コロナ禍で雇用と生活の不安が増す中、「新たな運動様式」への挑戦が求められています。

with/afterコロナ社会においても、すべての働く人にとって「必ずそばにいる存在」となり、連合ビジョンで掲げる社会を実現するために連合・労働組合が取り組むべきことは何か、具体的な提言を募集します。

提言については、組合員・組合役員・OBのみならず学生や一般の方からも幅広く募集いたします。皆様からのご応募ならびに周知をお願いいたします。

連合・教育文化協会共催 第18回

「私の提言」募集

具体的な提言を待っています！

募集テーマ

コロナ禍を乗り越え、「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の実現に向けて連合・労働組合が今取り組むべきこと
(オリジナルで未発表のものに限る)

応募フォームからの投稿をお待ちしています!!

応募締切		応募資格	
2021年7月26日(月) 必着		どなたでも応募できます。	
表彰		応募方法	
優秀賞	表彰盾と副賞 20万円	Webサイトの応募フォーム	
佳作賞	賞状と副賞 10万円		
奨励賞	賞状と副賞 3万円		
学生特別賞	賞状と副賞 1万円の奨学金×12ヶ月	応募・お問い合わせ先	
☆応募者には、もれなく記念品を進呈(入賞者及び審査対象外となった方を除く)。 ☆発表 2021年9月28日(火)予定		公益社団法人 教育文化協会 E-mail info-ilec@sv.rengo-net.or.jp 電話 03-5295-5421 詳しくは 教育文化協会 私の提言 募集	

現在予定される6月の日程表です

6月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	火		
2日	水		連合「第2回全国労働条件・中小労働担当者会議（地域ミニマム運動担当者会議）」（13:00～15:00・Zoom開催）
3日	木		
4日	金	埼玉県立大学へのフードパントリー〈食糧品寄贈〉（14:00～・埼玉県立大学）	連合「2021年度最低賃金全国学習会（実践編）」（10:00～11:30・Zoom開催）
5日	土		
6日	日		志木市長選挙告示日
7日	月		
8日	火	全国一斉集中労働相談ホットライン（10:00～19:00）	①関東甲信越ブロック「北方領土問題関係者会議」（13:30～15:30・Zoom開催） ②埼玉労働局「就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム会議」（14:00～・大宮ソニックシティ） ③秩父地域協議会「第9回幹事会」（18:00～・勤労者福祉センター）
9日	水	全国一斉集中労働相談ホットライン（10:00～19:00）	既卒3年以内の方及び34歳以下の若者対象就職面接会（13:15～・大宮ソニックシティ）
10日	木	政策フォーラム（10:00～・埼玉会館）	
11日	金	第7回四役・執行委員会（10:00～・13:00～・ときわ会館）	さいたま市地域協議会「第4回幹事会」（18:30～・浦和コミュニティーセンター）
12日	土		
13日	日	ワークルール検定	志木市長選挙開票日
14日	月	令和3年度地域別最低賃金勉強会（10:00～12:00・あけぼのビル）	連合関東ブロック「コロナ禍における女性活躍支援」（14:30～17:00）
15日	火		
16日	水	第2回総務・財務委員会（15:00～・連合埼玉会議室）	令和3年度埼玉県「障がい者雇用を考える連携会議」（10:00～・県民健康センター）
17日	木	オルガナイザー研修会（養成）（13:30～・埼玉会館）	
18日	金	①飯能市長選挙「大久保勝氏」推薦状授与式（10:00～・連合埼玉） ②女性のためのSTEP UPセミナー（初級編）（13:30～・Zoom開催）	
19日	土		
20日	日		
21日	月		
22日	火		
23日	水		
24日	木		
25日	金		
26日	土		熊谷・深谷・寄居地域協議会「30周年イベント」（9:45～・長瀬）
27日	日		
28日	月	第2回広報委員会（15:30～・あけぼのビル）	
29日	火		
30日	水	第2回労働政策委員会（15:00～17:00・あけぼのビル）	良い社会をつくる公共サービスを考える6.30埼玉集会（18:30～20:10・WEB開催）

埼玉県生活協同組合連合会は 県内15の生協が加盟する生協の連合会です

県内の生活協同組合によって、よりよい暮らしを実現していくために設立された埼玉県生活協同組合連合会は、各生協の事業発展と活動の交流、共通する課題で協同の取り組みを行っています。

長期化するコロナ禍での生活困窮者支援、近年頻発する自然災害への備えや支援、また少子高齢化が進む中で、誰もが住み慣れたまちで安心してらせる地域社会づくりに取り組むなど、持続可能な開発目標（SDGs）の理念である「誰ひとり取り残さない」社会の実現をめざして、これからも行政や地域の諸団体とのネットワークを大切にしながら、協力・協同の関係を築き、組合員や県民が安心してらせるよう取り組んでまいります。

会員生協	15生協	地域生協（コープみらい、パルシステム埼玉、生活クラブ生協）
会員組合員数	227万人	医療生協（医療生協さいたま）
＊コープデリ連合会除く		各種生協（埼玉勤労者生協、子どものその保育生協、埼玉労済生協、さいたま住宅生協、生協・さいたま高齢協）
会員事業高	1,976億円	大学生協（埼玉大学生協、跡見学園女子大学生協、大東文化学園生協、十文字学園生協、淑徳大学みずほ台生協）
＊埼玉労済生協、コープデリ連合会除く		連合会（コープデリ連合会）
＊＊いずれも2020年度末		

CO-OP 埼玉県生活協同組合連合会





Akebono Building

あけぼのビル

事務局長 平尾 幹雄

<2021年度上半期の活動を振り返って>

昨年(2020年)の11月18日(水)に連合埼玉第22回地方委員会を開催し、新たな2021年度の運動方針を補強しました。

特に「コロナ禍を乗り越えるためのこれからの活動」の考え方をまとめ、新たな視点のもと、取り組みをスタートしました。

その中でも、「命と暮らしを守る」ために「コロナ禍だから」という理由で活動が停滞するのではなく、「コロナ禍だからこそ」やるべきこと、工夫すべきことで、私たちができることを推進していくことをめざして、この上半期活動を進めてきました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染状況は、11月下旬から第3波の兆候が出始め、年明けの1月8日から～3月21日まで緊急事態宣言下となりました。そして、埼玉県では、約1カ月後の4月20日～まん延防止等重点措置となり、当初GW明けの5月11日でしたが、変異種の影響から感染が収まらず、5月末まで延長されています。

この上半期の活動を振り返ると、カレンダー上194日間の中で、116日間が緊急事態宣言もしくは、まん延防止等重点措置期間であり、まさに感染状況と向き合い、政府、県からの要請を踏まえながら、活動を推進してきました。

その活動が十分なものでどうか、あるいは他に方法があったかなど、まだまだ十分な検証ができているわけではありませんが、基本的には、3密を避け、非接触での活動推進、衛生対策の実施をおこなっています。

中でも、オンライン会議を活用した取り組みが大きな鍵となっています。4月29日(木)に開催した「埼玉県中央メーデー」もオンライン配信でしたが、この半年間の「新春のつどい」、「各種セミナー」、「各種機関会議の一部」など、オンライン会議システムを活用しながら開催しました。

一方で、春闘街宣行動のように現場での活動でしかできない部分や、オンラインより議論・連携の効果を得やすい必要なリアル会議など、しっかりと感染対策基準に沿って進めることで、バランスをとって進めてきています。このような取り組みの判断も、感染状況に応じて、対応を模索しながら、取り組みを進めています。

<2021年度下半期の活動に向けて>

今年度の残り半年の活動については、大きく2つの点で重要な取り組みとなります。1つは、この下半期には、必ず第49回衆議院議員選挙がおこなわれます。連合結成の目的の一丁目一番地は、「政策・制度の実現」になります。特に「働くことを軸とする安心社会～まもる・つなぐ・創り出す～」の実現に向けて、私たちの「命と暮らし」に必要な社会ルール、私たちが納める税金の使い道など、政策・制度を実現する必要があります。

そのためには、私たちの声を届けてくれる、協力してくれる、私たちの推薦する候補予定者をしっかりと応援して、国政に送り出す必要があります。

新型コロナウイルス感染症の中で、各構成組織の皆さんと一緒に、どのような取り組みができるのか、しっかりと連携しながら、進めていきたいと思えます。

そして、もう1つが、これまでの2年間(2020年度～2021年度)の活動を総括することであり、特に、この1年間の新型コロナウイルスの影響を踏まえた取り組みに対しての総括をおこなうことになります。

そして、向こう2年間(2022年度～2023年度)の新たな運動方針を作り込む時期でもあります。

とりわけ、一昨年に連合本部ならびに連合埼玉においても、結成30年という節目を迎え、新たな運動方針が策定されました。連合埼玉でも、「包摂」で「持続可能」な社会を目指し、各地域協議会との連携や各構成組織、関係団体との連携を踏まえながら、連合埼玉の組織体制、財政運営などの見直しにも着手していく必要があると考えています。

そして、新型コロナウイルス感染症への対策についても、ワクチンの普及や特効薬の開発など、社会全体の免疫力が高まることを期待しながらも、私たちの活動が安心・安全にできることを大前提に、下半期への取り組みを進めていく必要があります。



足袋蔵まちづくりミュージアム(旧 栗代(クリダイ)蔵)

<一足飛びにはいかない>

埼玉県行田市には、日本遺産^(※)に指定された足袋蔵(たびくら)があります。江戸時代の中期頃から、足袋の生産が始まり、防寒や長旅などの際に重宝され、江戸後期から明治にかけて、足袋の生産が盛んになっています。その足袋を保管する倉庫が、足袋蔵になります。足袋蔵は、水害や火災、湿気から商品を守るのに大変適した倉庫になります。数年前には、池井戸潤の「陸王」のドラマでも有名になった町でもあります。

足袋(たび)の語源には、いくつかあるようですが、旅をする際に用いる履物から旅沓(たびぐつ)の語源が影響したという説もあります。GWも過ぎ、初夏を思わせる季節となりました。たまには、旅行にでも行きたい気分になりますが、新型コロナウイルス感染症が収まらず、ワクチン接種も進まない中で、なかなか長旅にできることもできない状況に、ストレスを抱える方も多いのではないかと思います。

感染拡大を抑えるのは、結局、日々の感染防止対策に尽きるのではないかと思います。「一足飛びにはいかない」現実を思い、「行田の足袋」を見つめながら、連合埼玉の足元を固め、下半期の活動を1歩1歩確実に前進していきたい。

2021.5.19

※)日本遺産は、文化庁が平成27年度に創設した新しい文化財制度